

ミニディスクロージャー誌

第84期 営業の中間ご報告

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行



あなたのまちの

筑邦銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行の平成19年度中間期の業績と現況などについてご説明した「ミニディスクロージャー誌／第84期営業の中間ご報告」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いに存じます。

さて、金融機関を取り巻く経営環境は、各種制度改正の実施、ゆうちょ銀行の誕生、政府系金融機関や地域金融機関の統合・再編など、地域や業態を超えた競争がますます激化し、大競争時代を迎えております。

こうした中、当行は平成18年4月にスタートした「中期経営計画2006」において、「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指しております。本計画では、「持続的な収益力の強化」、「地域密着型金融の高度化」、「企業風土の変革」を基本方針に掲げ、収益力を一層強化し健全性の更なる向上をはかることとしております。

また、地域経済の活性化に貢献し、地元企業を支援するために、ビジネスマッチングやベンチャー企業の支援・育成等にも積極的に取り組んでいるなど、お客さまの利便性の向上、より質の高い金融サービスのご提供に努めております。

3ヶ年の本中期経営計画も半ばを過ぎましたが、これからも、地域に密着した地元の銀行として、お客さま、株主・投資家、地域社会の皆さまのご期待にお応えすべく、各施策の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成19年12月

頭 取 山下 洋

目次

	頁
ごあいさつ	1
経営方針	2
決算の概況	3
財務のご報告	5
当行の健全性	7
地域貢献	9
地域経済の活性化	11
社会貢献活動	12

	頁
商品／サービスのご案内	13
店舗／店舗外キャッシュコーナーのご案内	15
お客さまへの大切なお知らせ	17
個人情報の保護	19
トピックス	20
役員／株式の状況	21
株式のご案内	22

筑邦銀行の概要

設 立	…昭和27年12月23日
総 資 産	… 5,746億円
預金・譲渡性預金	… 5,281億円
貸 出 金	… 3,897億円
資 本 金	… 80億円
株 主 数	… 3,297名
従 業 員 数	… 614名
店 舗 数	… 42か店

(平成19年9月30日現在)

基本理念

「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。

今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

中期経営計画2006（2006年4月～2009年3月）

当行は、平成18年4月より「中期経営計画2006」を推進しております。

「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、本計画に掲げた諸施策を着実に実施してまいります。

目指すべき当行の姿

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

取組むべき課題

- ◎企業価値向上のための
 - (1) 収益構造の改善（マーケット運用力の強化）
 - (2) 経営資源の再分配
- ◎利用価値向上のための
 - (1) お客さま第一主義の徹底
 - (2) サービスの質の向上（セキュリティの強化）
 - (3) プロフェッショナルの育成
- ◎経営インフラ強化のための
 - (1) システム基盤の拡充
 - (2) リスク管理強化
 - (3) コンプライアンスの徹底

基本方針

1. 持続的な収益力の強化
 - 営業基盤の拡充、営業力の強化
 - ローコスト・オペレーションの追求
2. 地域密着型金融の高度化
 - 地域のお客さまに対する相談業務の充実
 - 提案型営業の強化
3. 企業風土の変革
 - スピード・決断力・実行力の向上
 - チャレンジング・スピリットの醸成

求められる当行の姿

- ◎地域と社会から信頼される銀行
- ◎利便性の高い銀行
- ◎何でも相談できる銀行
- ◎安心して取引できる銀行
- ◎投資価値の高い銀行

戦 略

営業部門戦略

- エリア戦略への取組
- 個人預り資産の増強（個人戦略）
- 問題解決型金融・サービスの提供（法人戦略）

市場部門戦略

- マーケット運用力の強化
- 市場部門リスク管理の強化

事務部門戦略

- 営業店事務効率化の推進
- 事務管理の高度化

IT・システム部門戦略

- IT関連商品・サービスへの取組強化
- セキュリティ対策の強化
- システム基盤強化

人事部門戦略

- プロフェッショナル集団の養成
- 従業員満足度の向上

経営管理の高度化

コンプライアンス

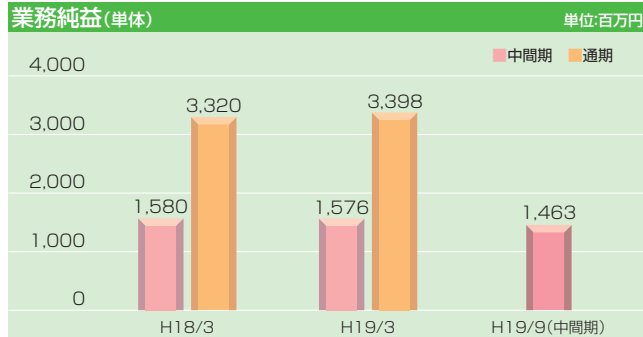
リスク管理

内部統制の充実

収益管理

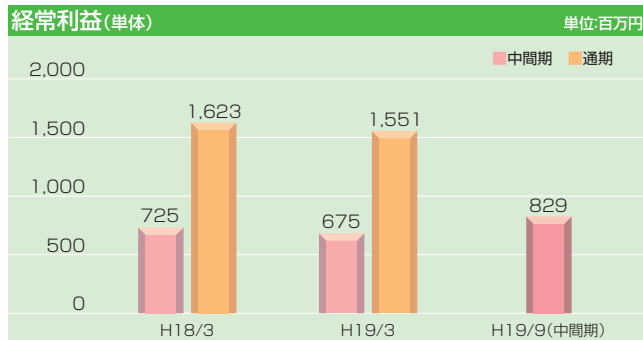
決算の概況

損益



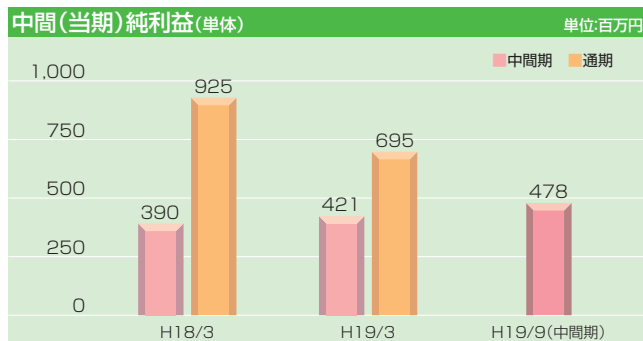
業務純益

業務純益は、営業経費及び一般貸倒引当金繰入額の増加等により、前年同期比1億13百万円減少して14億63百万円となりました。



経常利益

経常利益は、株式等償却及び不良債権処理額の減少等により、前年同期比1億54百万円増加して8億29百万円となりました。



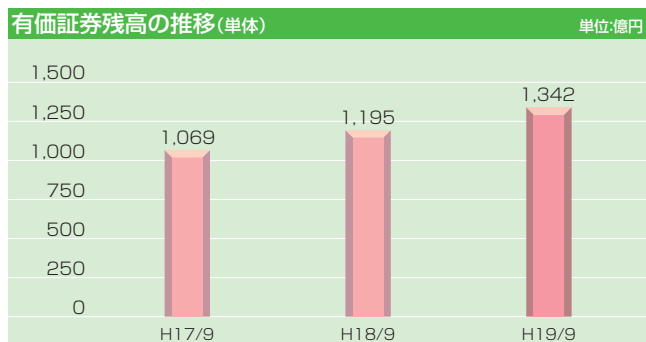
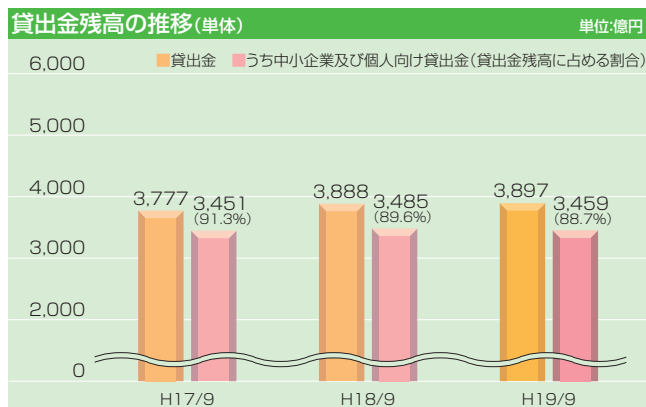
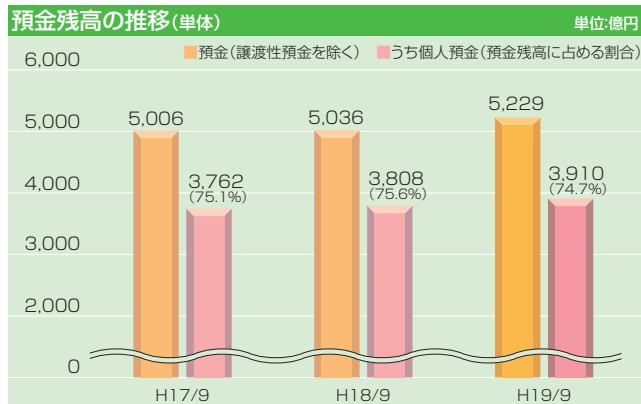
中間(当期)純利益

中間純利益は、経常利益の増加により、前年同期比57百万円増加して4億78百万円となりました。

●収益の用語解説

- 1.業務純益とは 銀行の利益を見る上での重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
- 2.経常利益とは 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
- 3.当期純利益とは 経常利益に特別損益と税金を加減算したもので、銀行が決算期間中に得た最終利益です。

資産・負債



預金

預金は、個人預金が順調に増加したことなどから、前年同期末比193億円増加して5,229億円となりました。

貸出金

貸出金は、地元企業を中心とした新規取引の拡大や個人のお客さまの住宅ローンをはじめとした資金ニーズにお応えするため積極的な営業活動に努めた結果、前年同期末比9億円増加して3,897億円となりました。

有価証券

有価証券は、資金調達が好調であったことから国債などの債券を中心に運用残高の増加を図り、前年同期末比147億円増加して1,342億円となりました。

財務のご報告（連結）

第84期中 中間連結貸借対照表 (単位：百万円)
(平成19年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	33,497	預金	521,411
買入金銭債権	69	譲渡性預金	5,205
商品有価証券	106	借入金	6,577
有価証券	134,265	外国為替	0
貸出金	386,270	その他負債	4,429
外国為替	255	退職給付引当金	1,603
その他資産	6,107	役員退職慰労引当金	358
有形固定資産	17,156	再評価に係る繰延税金負債	1,810
無形固定資産	2,528	支払承諾	8,412
繰延税金資産	3,852	負債の部合計	549,810
支払承諾見返	8,412	(純資産の部)	
貸倒引当金	△8,521	資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		利益剰余金	13,948
		自己株式	△111
		株主資本合計	27,596
		その他有価証券評価差額金	2,187
		土地再評価差額金	2,197
		評価・換算差額等合計	4,384
		少数株主持分	2,209
		純資産の部合計	34,190
資産の部合計	584,001	負債及び純資産の部合計	584,001

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期中 中間連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
前連結会計年度末残高	8,000	5,759	13,613	△99	27,272	3,820	2,201	6,022	2,129	35,424
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△155		△155					△155
中間純利益			486		486					486
自己株式の取得				△11	△11					△11
自己株式の処分			△0	0	0					0
土地再評価差額金の取崩			4		4					4
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△1,633	△4	△1,637	80	△1,557
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	335	△11	324	△1,633	△4	△1,637	80	△1,233
中間連結会計期間末残高	8,000	5,759	13,948	△111	27,596	2,187	2,197	4,384	2,209	34,190

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期中 中間連結損益計算書 (単位：百万円)
(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

科 目	金 額
経常収益	9,356
資金運用収益	5,731
(うち貸出金利息)	(4,795)
(うち有価証券利息配当金)	(848)
役務取引等収益	1,004
その他業務収益	2,410
その他経常収益	208
経常費用	8,360
資金調達費用	641
(うち預金利息)	(578)
役務取引等費用	333
その他業務費用	2,465
営業経費	4,017
その他経常費用	902
経常利益	995
特別利益	4
特別損失	18
税金等調整前中間純利益	981
法人税、住民税及び事業税	247
法人税等調整額	157
少数株主利益	89
中間純利益	486

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務のご報告（単体）

第84期中 中間貸借対照表

(単位：百万円)

(平成19年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	33,476	預金	522,950
買入金銭債権	69	譲渡性預金	5,205
商品有価証券	106	外国為替	0
有価証券	134,212	その他負債	2,646
貸出金	389,705	退職給付引当金	1,587
外国為替	255	役員退職慰労引当金	342
その他資産	1,703	再評価に係る繰延税金負債	1,810
有形固定資産	9,258	支払承諾	8,412
無形固定資産	1,754	負債の部合計	542,955
繰延税金資産	3,479	(純資産の部)	
支払承諾見返	8,412	資本金	8,000
貸倒引当金	△7,735	資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	13,710
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	10,986
		別途積立金	10,000
		繰越利益剰余金	986
		自己株式	△111
		株主資本合計	27,358
		その他有価証券評価差額金	2,186
		土地再評価差額金	2,197
		評価・換算差額等合計	4,384
		純資産の部合計	31,742
資産の部合計	574,698	負債及び純資産の部合計	574,698

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期中 中間損益計算書

(単位：百万円)

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

科 目	金 額
経常収益	6,949
資金運用収益	5,757
(うち貸出金利息)	(4,821)
(うち有価証券利息配当金)	(848)
役務取引等収益	962
その他業務収益	29
その他経常収益	199
経常費用	6,119
資金調達費用	584
(うち預金利息)	(579)
役務取引等費用	375
その他業務費用	90
営業経費	4,125
その他経常費用	941
経常利益	829
特別利益	4
特別損失	18
税引前中間純利益	816
法人税、住民税及び事業税	185
法人税等調整額	151
中間純利益	478

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第84期中 中間株主資本等変動計算書

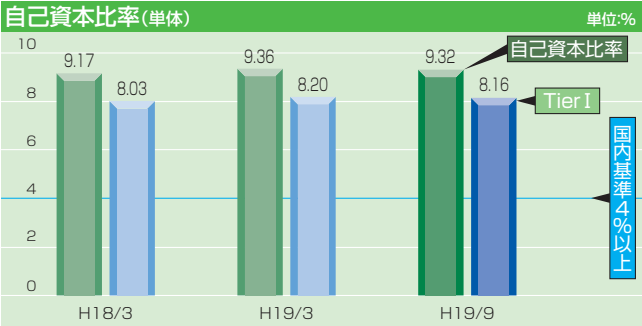
(単位：百万円)

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	別途積立金	繰越利益剰余金						
前事業年度末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	9,500	1,159	13,383	△99	27,043	3,819	2,201	6,021	33,064
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当						△155	△155		△155				△155
別途積立金					500	△500							
中間純利益						478	478		478				478
自己株式の取得								△11	△11				△11
自己株式の処分						△0	△0	0	0				0
土地再評価差額金の取崩						4	4		4				4
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)										△1,632	△4	△1,637	△1,637
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	500	△173	326	△11	315	△1,632	△4	△1,637	△1,321
中間会計期間末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	10,000	986	13,710	△111	27,358	2,186	2,197	4,384	31,742

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当行の健全性



自己資本比率(国内基準4%以上)

平成19年9月末の自己資本比率は、国内基準を上回る9.32%となり、健全性を見る上で特に重要だと言われているTier I 比率(中核的自己資本比率)も8.16%と高い水準にあります。

●自己資本比率の用語解説

- 1.自己資本比率とは** 銀行の貸出等総資産に対する自己資本額の割合です。
この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準(4%)を維持することが義務づけられています。
- 2.Tier I 比率とは** 資本金や利益剰余金などの基本的項目(Tier I)のみから算出される自己資本比率です。

格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。(平成18年12月12日現在)

●格付けの用語解説

格付けとは 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
※ A から B までの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス(+)もしくはマイナス(-)の符号による区分があり、一般的に B B B (-) 以上が「投資適格等級」と言われています。

有価証券(その他有価証券で時価のあるもの)の評価損益(単体) 単位:百万円

平成19年9月30日	評価損益	評価益	評価損
株式	4,655	5,104	448
債券	△568	172	740
外国証券	△722	36	759
その他	304	344	40
合計	3,669	5,658	1,989

●有価証券評価損益の用語解説

有価証券評価損益とは 有価証券の簿価と基準日現在の時価との差額を評価損益といい、この評価損益は、有価証券を時価で売却した場合に発生が見込まれる損益といえます。一般的には含み益や含み損といわれることもあります。

有価証券評価損益

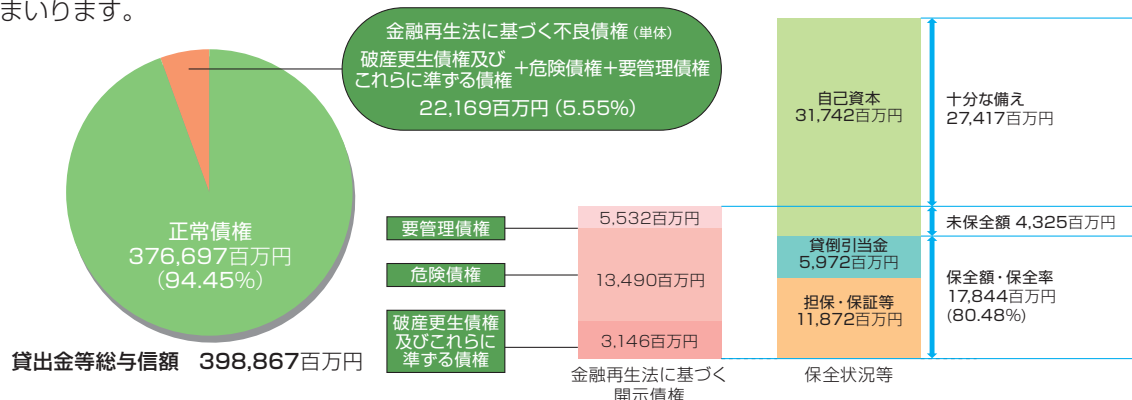
有価証券の評価損益は、評価益が56億58百万円、評価損が19億89百万円、評価益と評価損を通算した評価益は36億69百万円となりました。

不良債権

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額は3,988億67百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,766億97百万円で94.45%を占めております。

一方、不良債権は221億69百万円（総与信の5.55%）となり、前年同期末の236億37百万円（総与信の5.92%）に比べ14億68百万円減少しました。また、この不良債権の80.48%（178億44百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの43億25百万円につきましては、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生したとしても、当行の自己資本は317億42百万円あり備えは十分で、当行の財務内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底して、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。



●金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成19年9月30日	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	3,146	13,490	5,532	22,169
担保・保証等による保全額 (B)	2,405	7,573	1,893	11,872
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	740	4,660	570	5,972
保全額 (D) = (B) + (C)	3,146	12,233	2,463	17,844
開示額に対する保全率 $\frac{(D)}{(A)}$	100.00%	90.68%	44.53%	80.48%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	740	5,917	3,639	10,297
引当率 $\frac{(C)}{(E)}$	100.00%	78.76%	15.67%	57.99%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

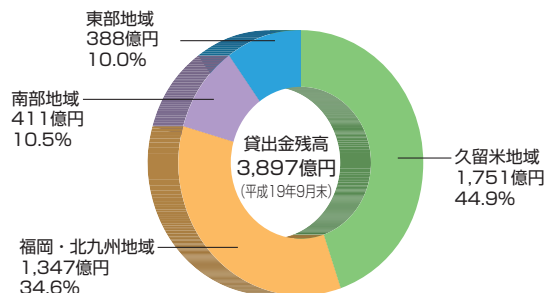
●不良債権の用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは** 破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権とは** 債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権とは** 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
- 正常債権とは** 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

地域貢献

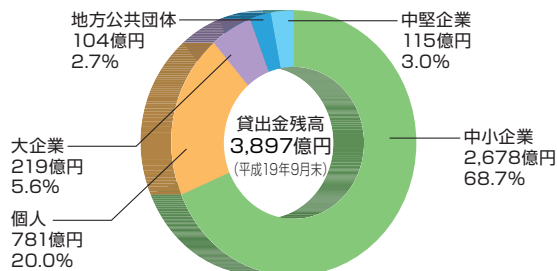
融資の状況

地域別貸出金残高、構成比率



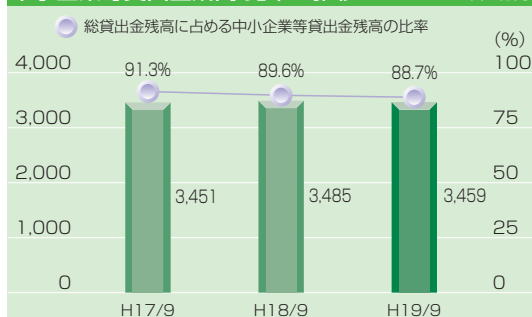
当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方々への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行創立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。

中小企業等貸出金残高、構成比率



当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

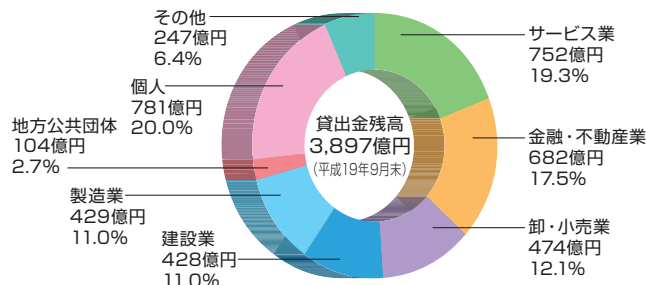
中小企業等貸出金残高・比率の推移



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方々に対する貸出金の残高は、前年同期末比26億円減少し、3,459億円となりました。総貸出金残高に占める中小企業等貸出金残高の割合は、88.7%（中小企業68.7%、個人20.0%）と高い割合を維持しています。

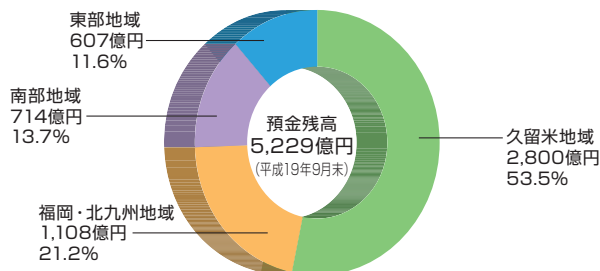
業種別貸出金残高、構成比率



当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。

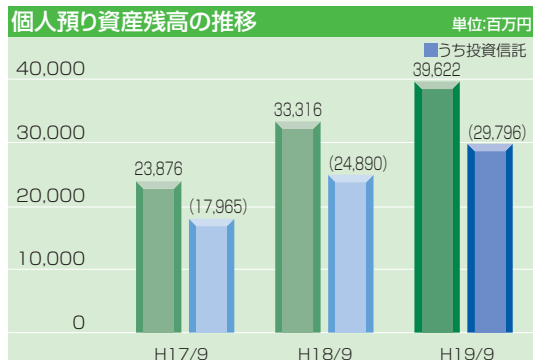
預金・預り資産の状況

地域別預金残高、構成比率



当行は、地域に根差した金融機関として、創立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に推移しております。今後もお客さまのニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

個人預り資産残高の推移



個人預り資産残高

当行は、お客さまの多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は投資信託を中心に前年同期末比63億6百万円増加し、396億22百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債の合計

地域経済の活性化

地域金融機関としての役割

当行は、地域経済の活性化・地域の発展のために、企業への円滑な資金供給やさまざまな金融サービスの提供という役割のほか、お取引先企業の経営改善支援などにも積極的に取り組んでおります。

1. 経営改善や事業再生への取り組み

- ①営業推進部内に専門スタッフを配置し、経営改善計画策定のサポート等を通して、お取引先の経営改善支援や事業再生支援に取り組んでいます。
- ②福岡県中小企業再生支援協議会との連携や多様な事業再生スキームの活用を図り、地元企業への積極的な支援活動を行っています。
- ③金融機関では全国初となった(社)中小企業診断協会福岡県支部との業務提携を通じ、専門家と連携した地域企業の経営改善に取り組んでいます。特に毎月開催している無料の経営相談会は、ご好評をいただいております。

2. 地域への貢献

- ①お客さまへの幅広いビジネス機会の提供を目的に、佐賀銀行、十八銀行と相互のネットワークを利用することで、より広範な情報を共有・活用していただく「北部九州ビジネスマッチング協議会」を運営しております。平成19年7月には、昨年に引き続き久留米市との共催により「久留米広域商談会」を開催し、前回は上回る多数の企業の参加がありました。(P20参照)
- ②優れた技術やノウハウをもちながら、後継者不在により、新たな事業展開が困難になっている地場企業の事業継続を支援するため、「九州ブリッジファンド」へ出資いたしました。
- ③地元中小企業の経営者の団体である「(社)筑後中小企業経営者協会」に人材を派遣し、活動の支援に取り組んでいます。
- ④「久留米市中心市街地活性化協議会」に参加し、協議会の一員として中心市街地活性化基本計画の検討、立案に取り組んでいます。
- ⑤「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設し、ベンチャー企業の支援、育成に取り組んでいます。



平成19年度 久留米広域商談会



「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰式

3. 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

担保、保証に過度に依存しない商品として、CRD（中小企業信用リスクデータベース）を利用した福岡県等との提携商品「元気フクオカ資金」、各地商工会議所との提携商品「ちくぎんビジネスローン」、保証会社との提携商品「ちくぎんサポートローン」、当行独自商品の「ちくぎんクイックローン」等を積極的に推進し、平成19年度上期中に452件、5,430百万円の融資を実行しました。引き続き担保・保証に過度に依存しない融資の推進や、事業価値に着目した新しい融資手法の開発等、地域のお取引先企業の資金調達手段の多様化に取り組んでまいります。

社会貢献活動

地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員としてさまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

1. 青少年スポーツ活動の支援

平成5年より、青少年の健全な育成を願って「ちくぎん杯少年サッカー大会」を開催しております。この大会は、当行の「地域活性化助成制度」に基づき毎年開催しており、筑後地区を中心に福岡県内および近県から、32チーム（小学生約600名）が出場し、2日間にわたる熱戦を繰り広げています。



第15回ちくぎん杯少年サッカー大会

2. 環境保全・美化活動

①全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、平成14年10月より、当行の基本理念である「地域社会へのご奉仕」の実践として、全行員による店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を行っております。

②地域の美化運動への積極参加

地域環境の美化のために、「都心部道路美化キャンペーン」、「筑後川河川敷美化ノーボイ運動」などの地域の美化運動に積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けております。

③古紙リサイクル活動の推進

平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進しております。



都心部道路美化キャンペーン



九州経済白書説明会

3. 各種講演会の開催

地域の皆さまへの情報サービスの一環として「福岡政行先生チャリティ講演会」・「九州経済白書説明会」等を毎年開催し、ご好評をいただいております。

4. 「小さな親切運動」の推進

昭和58年7月、「くるめ『小さな親切』運動の会」発足と同時に役職員が会員となり、今日まで「小さな親切」の実践に取り組んでまいりました。

また、平成5年4月から当行本店内に同運動の会の事務局を設置し、環境保全・美化活動など、豊かな地域づくりに向けたさまざまな活動に取り組んでおります。



くるめ水の祭典

5. 地域行事への積極参加

当行は、地域社会の一員として地域の皆さまとのふれあいを大切にし、毎年「くるめ水の祭典」などの様々な地域イベントに役職員が積極的に参加しております。

6. 地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ、講演会・会議などへ役職員を講師として派遣し、銀行業務や金融の仕組みについての講義を行い、地域の皆さまへの金融経済に関する情報提供に努めております。



大学の講義等に役職員を派遣

個人の皆さま向けローン商品

個人のお客さまの、より豊かで充実した明日のために、ライフステージに合わせた各種ローンを取りそろえております。
(平成19年9月末日現在)

種 類		ご融資金額	ご返済期間	特 色
カードローン	エースカードローン	300万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
	ミニカードローン	50万円以内	3年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れ、ご返済ができます。
	M y ポ ケ ッ ト	90万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
目的型ローン	マイカーローン	500万円以内	8年以内	車の購入や車検費用等のローンです。
	教育ローン	500万円以内	10年 6か月以内	在学期間中は返済を据置できます。
	子育て支援ローン	50万円以内	5年以内	子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。
住宅ローン	住まいる住宅ローン	6,000万円以内	35年以内	変動金利型、固定金利選択型をお選びいただけます。 ※3大疾病保障特約付住宅ローンも取扱いいたしております。



事業者の皆さま向け融資商品

地元企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えするため、さまざまな商品を取りそろえております。
(平成19年9月末日現在)

種 類		ご融資金額	ご返済期間	特 色	担保等
事業者用ローン	事業者カードローン	有担保は、1,000万円以内 無担保は、500万円以内	2年（自動更新）	限度内で繰り返し利用できます。	保証協会
	タイムリーローン	1億2千万円以内	2年（自動更新）	同上	同上
	ビジネスローン	5,000万円以内	3年以内	法人または個人事業主の方が対象となります。	不要
	サポートローン	2,000万円以内	5年以内	スピード審査でスピード回答、無担保・第三者保証人不要で事業性資金をご融資いたします。	オリックス(株)
	クイックローン	5,000万円以内	1年以内	スピード回答、無担保でご融資、事業性資金にご利用いただけます。	不要



インターネットサービス

いつでもラクラク、簡単アクセス！

【個人のお客さま】

インターネット・モバイルバンキング（ちくぎんCnet）
パソコンまたは携帯電話から残高照会や振込がご利用いただけます。



会社のパソコンが筑邦銀行の窓口！

【法人・個人事業主のお客さま】

インターネットバンキング（ちくぎんビジネスWeb）
オフィスにしながら、残高照会や振込がご利用いただけます。



※ご利用にはインターネットへの接続とご契約が必要です。

ご相談サービス

「金融のホームドクター」を目指している当行は、各種相談会の開催、相談コーナー等の充実に努めております。

（平成19年9月末日現在）

種 類	内 容
ちくぎん 年金相談会	平日にじっくりご相談を承れるように毎月第3水曜日に本店営業部で「年金相談会」を開催いたしております。年金に関するさまざまなご相談を専門の相談員がわかりやすくご説明いたします。（お問い合わせ：お近くの本店・各支店）
ちくぎん 経営相談会	経営改善、経営革新などに前向きに取り組んでおられる経営者の方々の事業の順調な発展、成長を支援するために中小企業診断士が経営の診断助言を行います。（お問い合わせ：お近くの本店・各支店）
ちくぎん 法律相談会	地域に密着した金融機関としてのサービスの一環として、無料の「法律相談会」を開催いたしております。専門の弁護士がわかりやすくていねいにお答えします。（お問い合わせ：お近くの本店・各支店）
ちくぎん テレホンセンター	フリーダイヤルによるローンの仮申込、ご相談を受付けております。また、定期預金の満期のご案内も行っております。受付時間は午前9時～午後8時迄です。（土・日・祝日は除きます。） ☎ 0120-86-7980
ちくぎん ご相談コーナー	本店営業部で、夜8時までご融資（住宅ローン、事業資金等）や資産運用などのご相談を承っております。 TEL 0942-32-5600



ご来店はゆっくり、ご相談はじっくりどうぞ。

ちくぎん相談コーナー

よる8時まで 本店営業部 平日時間延長

店舗／店舗外キャッシュコーナーのご案内

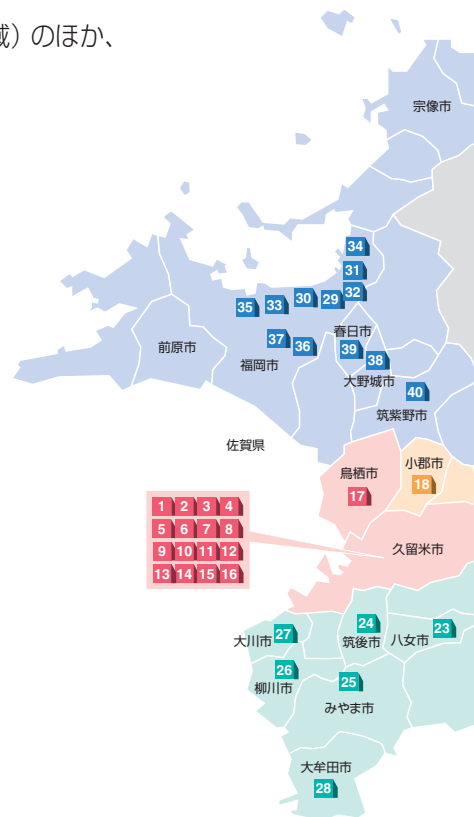
当行は、福岡県内（主として久留米地域、東部地域、南部地域、福岡・北九州地域）のほか、鳥栖市（佐賀県）及び日田市（大分県）とその近隣地域を営業基盤としています。

店 舗

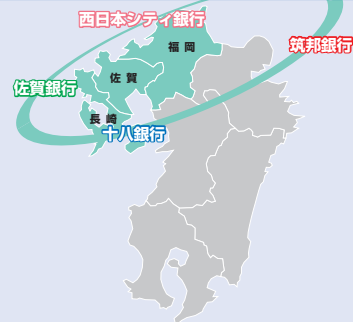
番号	店 名	電話番号
1	本店営業部	0942-32-5331
2	中央町支店	0942-33-9116
3	国道通支店	0942-33-8471
4	日吉町支店	0942-32-5261
5	くしはら支店	0942-39-3691
6	荒木支店	0942-26-3161
7	国分支店	0942-21-7131
8	高良内支店	0942-43-2333
9	長門石支店	0942-38-5731
10	津福支店	0942-34-6511
11	上津支店	0942-21-4681
12	南町支店	0942-21-4311
13	十三部支店	0942-43-3911
14	東合川支店	0942-44-5500
15	大善寺支店	0942-26-8971
16	田主丸支店	0943-72-2171
17	鳥栖支店（佐賀県）	0942-83-2801
18	小郡支店	0942-73-3211
19	甘木支店	0946-22-3920
20	吉井支店	0943-75-2101
21	杷木支店	0946-62-1125
22	日田支店（大分県）	0973-24-3171

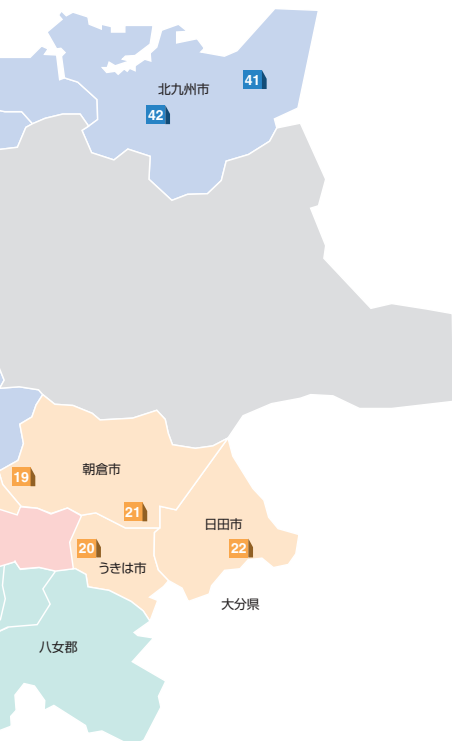
番号	店 名	電話番号
23	八女支店	0943-23-3141
24	筑後支店	0942-53-2188
25	瀬高支店	0944-62-2143
26	柳川支店	0944-72-2131
27	大川支店	0944-87-2134
28	大牟田支店	0944-52-5271
29	福岡支店	092-521-1451
30	赤坂門支店	092-761-6404
31	博多支店	092-411-7231
32	雑餉隈支店	092-581-2831
33	西新町支店	092-821-3331
34	名島支店	092-661-2811
35	姪浜支店	092-891-7561
36	警弥郷支店	092-572-3911
37	中尾支店	092-561-2231
38	大野支店	092-591-3111
39	春日支店	092-501-1531
40	二日市支店	092-922-6661
41	北九州支店	093-531-3631
42	黒崎支店	093-621-0631

- 久留米地域
- 南部地域
- 東部地域
- 福岡・北九州地域



●ATMネットワーク





提携金融機関4行のATM・CD 1,482か所 2,818台

(平成19年9月30日現在)

筑邦銀行、佐賀銀行、十八銀行、西日本シティ銀行のキャッシュカードをご利用のお客さまは、4行のATM・CDからのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間 平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。
 ※佐賀銀行、十八銀行、西日本シティ銀行のカードによる「お引き出し」は、当行カードによる「お引き出し」と同様の手数料となります。
 ※ご利用時間及びサービス内容は設置場所によって異なります。

店舗外キャッシュコーナー

入 西鉄久留米駅出張所	入 タイホー大石町店出張所
入 西鉄久留米駅前出張所	入 久留米駐屯地出張所
入 一番街出張所	入 久留米市役所出張所
入 久留米六角堂広場出張所	入 サザンモール出張所
入 久留米大学病院1階出張所	入 タイホー北野店出張所
久留米大学医療センター出張所	入 ミスターマックス北茂安店出張所
久留米大学商学部出張所	
入 ハンドメーク上津店出張所	小都市役所出張所
入 スーパー大栄上津店出張所	入 D&D大刀洗店出張所
入 西鉄花畑駅出張所	入 タイホー甘木店出張所
入 聖マリア病院出張所	朝倉市役所出張所
入 タイホー西町店出張所	入 ジャスコ甘木店出張所
入 タイホー津福店出張所	
入 タイホー櫛原店出張所	入 ゆめタウン八女出張所
入 タイホー国分店出張所	柳川市役所出張所
入 ゆめタウン久留米出張所	
入 タイホー山川店出張所	ソラリアプラザB1出張所
入 西鉄ストア宮ノ陣店出張所	入 明治屋太宰府店出張所
入 JR久留米駅出張所	筑紫野市役所出張所
	入 ゆめタウン筑紫野出張所

入 入金できる設備

お客さまへの大切なお知らせ

キャッシュカード犯罪被害にあわないために

キャッシュカードの 暗証番号は大丈夫ですか？

- 暗証番号を「生年月日」、「電話番号」、「住所の番地」及び「自動車のナンバー」など他人に類推されやすい番号にすると大変危険です。もし、このような番号をご使用になっていて被害にあわれた場合、補償が減額されることがありますので、至急変更されるようお願いいたします。
また、暗証番号をカードに書き込んだり、メモと一緒に保管していたりすると、被害にあわれた場合に補償を受けられませんのでご注意ください。
- 暗証番号の変更はお取引店の窓口またはATMでお取扱いできます。
- 銀行員を装って電話をかけ、「暗証番号を変更する」などといった、暗証番号を聞きだそうとする犯罪が発生しています。当行行員がお客さまに暗証番号をお聞きすることはありません。また、キャッシュカードはどんなに短時間であっても他人に預けたりするのは大変危険ですのでご注意ください。

通帳・印鑑・キャッシュカードの 保管にご注意ください！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いします。また、運転免許証や保険証などご本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 通帳の記帳はできるだけ頻繁に行い、不審な取引がないかを確認してください。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれか一つでも紛失された場合は、すぐにお取引店へご連絡ください。早朝・夜間及び休日についてはATMサービスセンターにご連絡ください。

キャッシュカード・通帳等の紛失・盗難のご連絡先

	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平 日	8:45～18:00	お取引店またはお近くの筑邦銀行	「店舗のご案内」(P15)をご覧ください。
	18:00～翌日8:45	ATMサービスセンター	0942-35-0037
土・日・祝	24時間受付		

偽造・盗難キャッシュカード対策への取組み

当行は偽造・盗難キャッシュカード等によるお客さまのご預金の不正引出を防止するため、さまざまな対策を講じています。

対 策 項 目	内 容
のぞき見防止フィルム	ATM機の操作画面にのぞき見防止フィルムを貼り、お客さまの後方や横から暗証番号等をのぞき込まれないように安全性を高めています。
後方チェックミラー	ATM機の操作中にお客さまの後方がチェックできるようにミラーを取り付けております。
「ご利用明細票」の発行要否選択	キャッシュカードでのお引出しの際、お客さまの口座番号等のカード情報が第三者に漏れるのを防ぐ目的で「ご利用明細票」発行の要否をお選びいただけるようにしています。
ATMでの「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」機能	ATMでの一日あたりのご利用限度額※を200万円に引上げていますが、不正引出被害の全国的な増加を受け、お客さまのご預金保護のため、「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」を、窓口でのお取扱いに加えて、お客さまが直接ATM機で行うことができるようにしています。
盗難・偽造等の24時間受付	カード等の盗難・偽造等の被害の未然防止や拡大防止をはかるために、お客さまからの緊急連絡を、24時間受付いたしております。

※ご利用限度額について
・ご利用限度額には当行のATMでのお引出し、お振込(振込資金の引落し)のほか、提携金融機関でのお引出し、デビットカードのご利用金額を含みます。

「金融商品取引法」施行について

資産運用をお考えのお客さまへ

金融商品の販売・勧誘ルールが変更されました。

- 平成19年9月30日に「金融商品取引法」が施行され、関連する法令（銀行法、保険業法、金融商品の販売等に関する法律など）が改正されました。

これらの新しい法令は、元本割れ等のリスクがある金融商品（投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債など）について、お客さまに十分ご理解いただいたうえでお取引いただけるよう、金融商品の販売・勧誘ルールを変更するものです。

新しいルールに則った販売・勧誘を行います。

- 当行では、新しい法令に則り、お客さまのご意向や金融商品・投資に対する知識、ご経験、財産の状況等を踏まえ、お客さまにあった商品をご提供できるようこれまで以上に努めてまいります。
- また、お客さまに金融商品の内容を十分ご理解いただけるよう、リスクや手数料などの商品内容についてのご説明を詳しく丁寧に行ってまいります。

お客さまへのお願い

- お客さまにあった商品をご提供させていただくため、お客さまのご意向などについて、これまでよりも詳しくお伺いする場合がございます。
- お客さまに金融商品の内容を十分ご理解いただけるよう、商品性などのご説明について、これまで以上にお時間をいただく場合がございます。
- お客さまがご希望される金融商品であっても、お客さまの金融商品・投資に対する知識やご経験等を踏まえ、お取引をお断りさせていただく場合がございます。
- 商品のご購入に際して、当行からお渡しするリスクや手数料などの商品内容について記載した「契約締結前交付書面」等説明書面の内容をよくご確認ください。ご理解のうえ、ご契約をご検討ください。

金融商品に関する勧誘方針について

筑邦銀行金融商品勧誘方針

当行は、金融商品の販売等にあたっては、各種法令・規則を遵守し以下の方針に則り、適正な勧誘を行います。

1. 当行は、お客さまの知識、経験、財産の状況および契約の目的に応じた、適正な勧誘を行います。
2. 当行は、お客さまに対して、商品の仕組みやリスク内容など重要な事項について、十分にご理解いただくよう適切な説明に努めます。
3. 当行は、断定的判断を申し上げたり、事実と異なる情報を提供するなど、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
4. 当行は、お客さまに不都合な時間帯やご迷惑な場所での勧誘は行いません。
5. 当行は、この勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うため、研修体制の充実や行内ルールの整備などに努めます。

個人情報保護の保護

当行は、以下のとおり「個人情報保護宣言」を定め、行内態勢を整備し、お客さまからお預かりする個人情報の保護に努めております。

1.個人情報保護への取組み

管理責任態勢を明確にし、組織的に継続的な改善に努めております。

また、全役職員に対し、個人情報保護の重要性について教育を実施し、日常業務における適正な取扱いを徹底しております。

2.個人情報の取扱い

「個人情報保護法」及びその関連法令等を遵守し、業務上必要な範囲内で適正な手段により取得・利用しており、目的外の利用はいたしておりません。

また、保有する個人情報に関する開示・訂正・利用停止等の請求ならびに利用目的に関する通知等の請求に対応いたしております。

3.個人情報の安全管理

個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等を防止するため、万全な組織的セキュリティ対策及び技術的なセキュリティ対策を行っております。

4.個人情報の取扱いに関するお問い合わせ・苦情等のお申し出先

個人情報の取扱いに関するお問い合わせ・苦情等のお申し出については、営業店ならびに以下の窓口にて対応いたしております。

開示等の手続は、窓口のパンフレットまたは当行ホームページをご確認ください。

【ご質問・苦情等のお申し出先】

株式会社 筑邦銀行 本店 お客さまサービス室
久留米市諏訪野町2456番地の1

電話：0942-32-5343（直通） E-mail：ckh-service@chikugin.jp

（月曜日から金曜日 9：00～17：00 ただし、土・日・祝祭日等銀行休業日を除きます。）



トピックス

ちくぎん資産運用セミナー（平成19年6月）

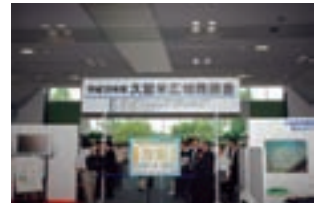
当行では、お客さまの多様化する資産運用のニーズにお応えするために、「ちくぎん資産運用セミナー」を開催し、ご好評をいただいております。これからも、お客さまの資産運用について、さまざまな情報提供に努めてまいります。



ちくぎん資産運用セミナー

「久留米広域商談会」の開催（平成19年7月）

当行、佐賀銀行および十八銀行の3行が共同で設立した「北部九州ビジネスマッチング協議会」は、久留米市との共催で昨年に引き続き2回目の「久留米広域商談会」を久留米リサーチセンターにて開催しました。この商談会は、地場中小製造業に対する受注機会の拡大や、製造業の企業誘致の促進など、地域産業の活性化を図ることを目的として開催している地場最大規模の商談会です。今回は、久留米市に進出を計画しているダイハツ工業の参加もあったことから、発注先企業40社、受注先企業171社の参加があり、参加企業はいずれも昨年を大幅に上回りました。特に、自動車関連の発注先企業には人気が集まり、会場は活気に包まれました。



平成19年度 久留米広域商談会

「筑邦銀行経営内容説明会」の開催（平成19年7月～8月）

当行はIR活動の一環として、株主、お取引先等を対象に「筑邦銀行経営内容説明会」を平成14年より毎年、全営業店で開催しています。今年の説明会は、役員出席による開催が23ヶ店、お取引先等の参加が628名といずれも昨年の実績を上回り、参加いただいたお取引先等より、熱心なご質問やご意見を頂戴し、活気ある説明会となりました。これからも経営内容説明会等を通じて、積極的な情報開示に努めてまいります。



山下頭取による経営内容の説明
(本店営業部)

「ホットメリット住宅ローン」の取扱開始（平成19年9月）

当行は環境問題に配慮し、エネルギー効率が高く、二酸化炭素の排出量が少ない給湯暖冷房システムなど、ガスを使った省エネ、環境配慮型機器を装備した住宅に対して金利を優遇する「ホットメリット住宅ローン」の取扱を開始しました。

役員／株式の状況

役員氏名 (平成19年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	井 手 和 英
取締役頭取 (代表取締役)	山 下 洋
取締役副頭取	佐 藤 清一郎
常務取締役	空 閑 重 信
常務取締役	日 隈 篤 裕
取締役	田 中 靖 正
取締役	龍 憲 一
取締役	青 木 正 明
常勤監査役	吉 田 茂
監査役	豊 島 安 治
監査役	上 野 寛
監査役	薬師寺 道 明

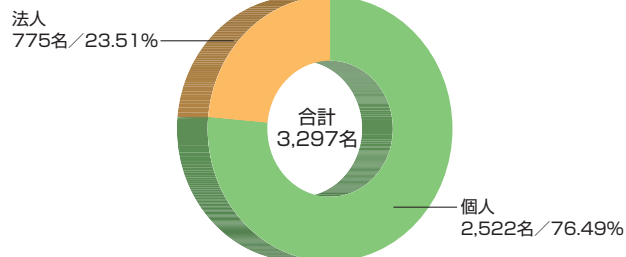
(注) 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

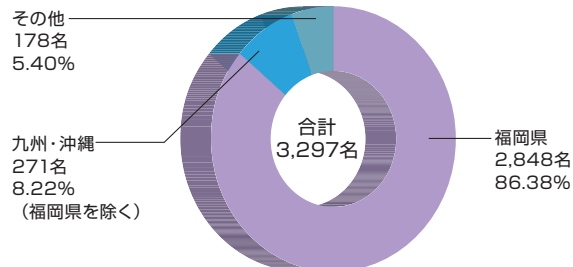
●株式の所有数別分布表

区分	株主数 (名)	株主数比率 (%)	株数 (株)	株数比率 (%)
1,000,000株以上	10	0.30	16,238,009	25.98
500,000株以上	9	0.27	6,058,331	9.69
100,000株以上	70	2.12	15,946,211	25.52
50,000株以上	74	2.24	4,797,101	7.68
10,000株以上	740	22.45	13,523,058	21.64
5,000株以上	508	15.41	3,177,735	5.09
1,000株以上	1,144	34.70	2,455,280	3.93
1,000株未満	742	22.51	294,475	0.47
合 計	3,297	100.00	62,490,200	100.00

●株式の所有者別分布状況



●株主の地域別分布状況



株式のご案内

1.事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
2.期末配当金の確定日	毎年3月31日
3.中間配当金の確定日	毎年9月30日
4.定時株主総会	毎決算日後3か月以内に開催
5.株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
6.同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
7.連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ・各種お問い合わせ 0120-232-711（通話料無料） ・各種手続用紙のご請求 0120-244-479（通話料無料） ・ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/
8.同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
9.上 場 証 券 取 引 所	証券会員制法人 福岡証券取引所
10.公 告 掲 載 紙	福岡市において発行する西日本新聞に掲載 決算公告につきましては、下記のホームページに掲載しております。 ・ホームページアドレス http://www.chikugin.co.jp/

ちくぎんホームページ

インターネットのホームページで、決算情報、各種サービス・商品、最新のトピックス等常時情報を発信しております。ぜひ当行ホームページをご覧ください。

<http://www.chikugin.co.jp/>



あなたのための

筑邦銀行

筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)